

杉の樹大学事業企画運営業務公募型プロポーザル 質問と回答

令和 7 年 9 月 12 日

No.	質問項目	質問内容	回答
1	講座内容 (P9)	P9 (3) ①連続講座【期別講座】で、ア文芸・教養・杉並に関する講座 の講座企画の中に エ施設見学等校外学習などの講座 が含まれる提案も可でしょうか	可能です。 1 コースの中に、ア「文芸・教養・杉並に関する講座」～オ「ア～エのほか、必要と認める講座」の内容が複数含まれていても構いません。 ただし、各コースの講座内容については重複しないようにしてください。
2	講座内容 (P9)	P9 (3) 講座内容で、 専ら高齢者の ICT 利用を促進する講座を除く とありますが、例えば地域活動に関する講座に関する講座（地域防災など）の中で、一部 ICT 利用に関する回が含まれる講座は可でしょうか。	可能です。 イ「地域活動に関する講座」に限らず、内容ア「文芸・教養・杉並に関する講座」～オ「ア～エのほか、必要と認める講座」の全てにおいて、一部 ICT 利用に関する回が含まれていても構いません。
3	受講生募集人数 (p10)	「杉の樹大学事業企画運営業務内容説明書」 5 委託業務内容 (7) 受講生募集人数に関しまして、 昨年度開催の講座での募集人数と受講生の人数をご教示ください。	令和 4 年度から今年度までは、デジタルデバインド解消を目的としたスマートフォン講座を中心に実施してきており、昨年度は、1～2 回で完結する講座を以下のとおり実施しました。 ・スマートフォン講座（操作講習） ①初心者のための 2 日講座 回数：6 回（1 回 2 日間）、定員：20 人/回、 受講人数：117 人

			②アプリ活用講座 回数：6回、定員：20人/回、受講人数：114人 ③SNS活用講座 回数：6回、定員：20人/回、受講人数：96人 ・スマホ指導者育成講座 回数：2回（1回2日間）、定員20人/回、 受講人数：15人 ・スマホ、タブレット等の個人相談会 回数：24回、定員：10人/回、受講人数：206人 ※記載のとおり、今回企画提案いただくものと、前年度のものは大きく異なりますのでご注意ください。
4	申込受付（p10）	「杉の樹大学事業企画運営業務内容説明書」 5 委託業務内容 （8）各講座共通事項 （ii）受講生申込受付・管理業務 ①申込受付 に関しまして、「往復ハガキ以外の申込受付方法を提案することも可能」と記載がありますが、前年度の事業実施時にはどのような方法で申込受付を行われていましたか。 また、これまで申込受付方法としてはどのような方法が採用されていますでしょうか。	前年度は、往復ハガキによる申込制としていました。 また、これまでの申込方法としては、往復ハガキ以外に、二次元コードを活用した専用フォーム、FAX、Eメールを採用し、複数の方法により申込受付を行うこともありました。